

静岡市剣道連盟

広報だより

第9号

発行：静岡市剣道連盟
事務局：静岡市葵区上足洗 43-28
☎054-246-9551

青少年指導に思う

静岡市剣道連盟

副会長 阿部 誠



広報誌の寄稿にあたり、本連盟を今日の隆盛に導いて下さった先輩諸兄に心から敬意を表したいと思えます。

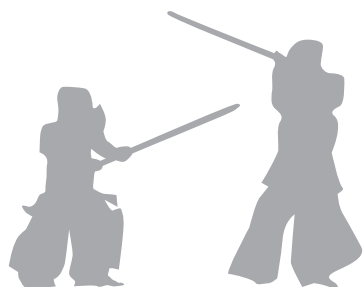
昨今の社会状況の中で、特に青少年の一部の間で人命を軽視するような悲惨な事件が多発しています。信頼や敬愛、優しさや思いやり、道徳心などという言葉が死語になりつつあり、教育現場のみならず大きな社会問題として大変心配されています。

古来、我が国においては人間形成の道として貴ばれ、修練の道として尚ばれてきた武道は、今や日本だけではなく海外からも注目を集め、誇り高い伝統的運動文化として、その地位を築き上げています。この武道がこれからの青少年の精神的な危機を脱するのに貢献するものとして、再確認されるのは必至のことではないかと思われます。

教育現場でも「武道」をすべての生徒が履修することになりました。特に青少年期の人間形成の道として剣道が奨励され、期待が寄せられるのはそのためではないでしょうか。

剣道をはじめとする武道が目指すものは、心身を鍛え、技を磨くことは勿論、礼儀作法を重んじ、お互いに相手を尊重する姿勢を育むなど、豊かな人間形成を図るうえで大変意義深いものがあります。また、剣道が子供から高齢者まで、幅広い年齢層に愛顧されていることは、生涯を通して明るく豊かで、健全で活力ある社会づくりを進めていくうえでも大いに貢献しているということではないでしょうか。したがって青少年の指導に携わる者は、剣道に対する考え方や指導方法などについて一層見識を深めながら、時には厳しく時には温かく、愛情を持って「正しい剣道」の伝統を受け継ぎ、指導しなくてはならないと思います。このことは剣道の普及発展にとどまらず、次代を担う青少年の豊かな人間性を養うものと確信いたします。本連盟の大きな目的、青少年の健全育成に通じるものがあります。

これからも静岡市剣道連盟の益々の発展と会員の皆様が健康で稽古に精進されますことを祈念いたします。

全日本高齢者武道大会
(寿A) 優勝2連覇

平成25年6月3日(月) 東京日本武道館で開催された第35回全日本高齢者武道大会(剣道)において、元静岡市剣道連盟会長、現静岡市剣道連盟顧問 林学先生が、寿A(85歳以上)の部で見事優勝され、2連覇を達成されました。また、団体では本県チームが準優勝しました。林先生には、大変お忙しい中、昨年に引き続き優勝の喜びを寄稿して頂きましたのでご紹介申し上げます。

「継続は力なり」
—生涯剣道の志

静岡県剣道連盟参与・静岡市剣道連盟顧問・素交会代表 林学

私は図らずも昨年に続き、全日本高齢者大会に於いて本年も最高年齢の部(85歳以上)で優勝するという天機に恵まれました。無上の喜びと共に深い感謝の気持ちで一杯です。しかしながら私の中でそれにもまして喜び、感謝と共に誇れることは、県高齢者剣友会である素交会のメンバーで構成された静岡県チームが団体戦に於いて堂々準優勝の栄誉に輝いたことであると思います。これも絶えざる精進の賜であると思えます。

私は10歳から剣道を始め、戦争やその後の生業の為のブランクもありましたが、それでも長い間剣道を続けてきた御褒美をこの歳になつてから頂き、まこと感謝のほかに表す言葉が見つかりません。そんな私が先輩高齢者の立場から皆さんに言えます事は、「継続は力なり」の教えを決して疑うことなかれということです。

今回の結果は、その教えを皆さんにそれなりにお伝えすることが出来たのではと密かに感じております。

私は生涯剣道を志しています。今の己より高きところを目指し、背筋を伸ばし、丹田に気を溜めて打つ事を常として日々精進しています。正しい呼吸、正しい姿勢の剣道は即ち正しい人の道であり、高齢者にとっては老化を防ぐ道でもあると考えます。

現在、私は後輩達に身を以てこの道を教え導き、後世へと繋げていくという使命と共に、高齢者がいつも元気で長生きして、生涯剣道の道を楽しく歩いていくことを心から望んでおります。88歳の私があと何年生きていけるかわかりませんが、体の続くうちは一生懸命皆さんと稽古をさせて頂き、生ある限り、次世代の方々の為に、その礎の一つとなりたいと願って止みません。



第8回鈴与杯少年剣道大会

開催日時 平成25年5月3日(金・祝)
大会会場 静岡市営清水総合運動場体育館

◇小学生の部 22チーム

優勝 武修館
準優勝 SBS錬心館
三位 新運館「剣道教室」、篤誠館

◇中学生男子の部 33チーム

優勝 東海大学付属翔洋高等学校中部
準優勝 南中学校
三位 東中学校、清水第六中学校

◇中学生女子の部 24チーム

優勝 服織中学校
準優勝 長田西中学校
三位 豊田中学校、高松中学校

第11回静岡市民剣道大会

開催日時 平成25年10月14日(月・祝)
大会会場 静岡市北部体育館

◇小学生4年の部

1位 武村 真紘(武修館)
2位 前田 知里(武修館)
3位 山崎 優斗(武修館)

◇小学生5年の部

1位 松川 美羽(武修館)
2位 藤牧 郁也(高部剣入求)
3位 石垣 圭悟(武修館)

◇小学生6年の部

1位 漆畑 まこ(新運館)
2位 森 文香(武修館)
3位 岡村 亮輔(武修館)

◇中学男子1年の部

1位 山本章太郎(安東中)
2位 藤田 拓大(清水六中)
3位 岩崎 了(大里中)

◇中学男子2年の部

1位 望月 大翔(翔洋中)
2位 竹村 悠太(翔洋中)
3位 近藤 大地(服織中)

◇中学男子3年の部

1位 雨宮 颯馬(翔洋中)
2位 渡邊 拓朗(翔洋中)
3位 佐藤 寛太郎(聖光学園中)

◇中学女子1年の部

1位 黒田 美里(長田西中)
2位 望月 真琴(安倍川中)
3位 磯 季桜(小島中)

◇中学女子2年の部

1位 安本 凛(長田西中)
2位 中川 奈緒(長田西中)
3位 川崎 美和(美和中)

◇中学女子3年の部

1位 杉山 広夏(龍上中)
2位 水野 杏香(服織中)
3位 長島 桃花(服織中)

◇女子40歳未満の部

1位 青島 このみ(静岡東)
2位 富永 遥香(清水東)
3位 白鳥 百合子(静岡大)

◇女子40歳以上の部

1位 宇佐美 公子(新運館)
2位 石川 磨由美(新運館)
3位 金原 奈緒子(大剣会)

◇男子40歳未満の部

1位 菊地 竜平(中央高)
2位 中村 圭祐(静大)
3位 野崎 泰孝(鈴与)

◇男子40歳以上の部

1位 本多 廣之(用宗剣道)
2位 海老澤 芳紀(大剣会)
3位 荒木栄一郎(清心館)

第7回万灯みたま祭奉納剣道大会

開催日時 平成25年7月27日(土)
大会会場 (社) 静岡県剣道連盟「養浩館」

1年 望月健成(小島剣道入求少)

2年 山崎優月(静岡武修館)、酒井琢帆(浜田剣道教室)

元野湊(浜田剣道教室)

3年 才茂英由(大剣会)、石野美紗希(新運館「剣道教室」)

佐藤宏太(大剣会)、望月洗陽(小島剣道入求少)、

山田瑛(浜田剣道教室)

4年 竹村真紘(静岡武修館)、山崎優斗(静岡武修館)

前田知里(静岡武修館)、小栗愛美(SBS錬心館)

海老澤美月(大剣会)

5年 望月天太(大剣会)、鈴木翼(安東剣道教室)

望月拓身(静岡武修館)、網本真之介(SBS錬心館)

山田雄風(大剣会)、岩本脩翔(安東剣道教室)

6年 松川美羽(静岡武修館)、藤牧郁也(高部剣道入求少少年団)

森文香(静岡武修館)、漆畑まこ(新運館「剣道教室」)

佐野凌也(東部体育館剣道教室)、松崎理子(SBS錬心館)

長野隼也(東部体育館剣道教室)、松永晴日(蒲原剣道少年団)

加村実夢(三保剣道クラブ)

第51回近県青少年剣道大会

開催日時 平成25年8月4日(日)
大会会場 静岡市北部体育館

◇青少年の部 参加47チーム

優勝 尚道館B(磐田市)

準優勝 誠学館剣道入求少少年団(富士市)

三位 静岡市駿河区

三位 静岡市清水区

◇小学生の部 参加70チーム

優勝 武修館(三島市)

準優勝 尚道館A(磐田市)

三位 剣修館道場(浜松市)

三位 浅羽少年剣道教室(袋井市)



第7回静岡市段別居合道大会

開催日時 平成25年9月23日(月・祝)
大会会場 静岡市北部体育館 剣道場

試合は33名が参加し、段外から三段までがトーナメント方式で、4段から6段までが演武形式で行われました。

◇段外の部

優勝 本目愛音(中央体育館)
二位 柴田享(中央体育館)
三位 佐藤彩光(大圓堂拓心会)

◇初段の部

優勝 鈴木淳子(中央体育館)
二位 柴田靖枝(中央体育館)
三位 鈴木将仁(中央体育館)

◇二段の部

優勝 伊奈幸子(中央体育館)
二位 佐藤孝志(長田体育館)
三位 秋元柊(静岡八重垣会)

◇三段の部

優勝 柴木 崇(無相会)
二位 長坂義幸(無相会)
三位 三浦悠也(中央体育館)

◇四段の部

優秀者 中村弥弘(無双直伝英信流)

◇五段の部

優秀者 由良 尚美(無双直伝英信流)

◇六段の部

優秀者 松下武人(夢想神伝流)



第11回静岡市中学新人団体戦

開催日時 平成25年10月20日(日)
大会会場 静岡市北部体育館

【男子】

優勝 東海大学付属翔洋高等学校中部部
二位 静岡市立服織中学校
三位 静岡市立大里中学校
四位 静岡市立末広中学校

【女子】

優勝 静岡市立長田西中学校
二位 静岡市立豊田中学校
三位 静岡市立立田中学校
四位 静岡市立立田中学校



中体連だより

「全国大会を終えて」

東海大学附属翔洋高等学校中部部

渡邊 拓朗

私達は全国大会初出場でした。中学生になってからの大きな目標を、県優勝という形で達成することができました。

全国大会では、同じ東海大学附属の浦安中学校と同じリーグでした。このチームにはこれまで一回も勝った事が無かったので、この舞台で勝とうと思いました。しかし、実際にやってみるとなかなか自分の試合をさせてもらえず、力をすべて出し切ることができずに終わってしまいました。全国のレベルは高いという事はわかっていましたが、改めて感じさせられました。

このような経験は、自分のこれからの人生にとっても大きな影響を与えてくれると思います。この経験をさせてくれた家族、先生、チームメイトへの感謝の気持ちを忘れず、高校生になってもインターハイ出場という大きな目標に向けて頑張ります。



お知らせ

静岡市剣道連盟主催事業における気象警報等への対応について

このことについて、以下のように対応しますので、ご理解ご協力をお願いします。

〔原則1〕

当日朝6:00現在、「静岡市南部」(注)に特別警報が発令されている場合、あるいは大雨警報・洪水警報・暴風警報のいずれか一つでも発令されている場合は、主催事業は中止する。

(注) 気象庁による気象に関する警報・注意報の発表区域である「静岡市南部」は天気予報発表区域の「静岡県中部南」の一部です。
「中部南全域」に発表と表現された場合は、静岡市南部が含まれますが、中部南には島田市や牧之原市等が含まれているため、警報・注意報の発表区域を確認ください。

☆参加各団体の責任者には連絡をしませんので、気象情報等の収集をし、対応をお願いします。

〔原則2〕

大会前日に静岡市南部で、台風の進路等で大会当日の警報発令が十分予想される場合には、「会長・副会長・理事長・事務局長・担当委員長」で協議し、主催事業の中止を判断することもある。

☆この場合には参加団体責任者には連絡をします。

〔原則3〕

大会中に大雨警報・洪水警報・暴風警報のいずれか一つでも発令された場合は、主催事業は中止する。
☆中学生以下の参加者については、保護者等の迎えが来るまで施設内で待機します。



受賞寄稿文

平成 24 年度 少年剣道教育奨励賞 三保剣道クラブ（清水区）、蒲原剣道少年団（清水区）

少年少女の剣道指導に永年にわたり尽力し、家庭及び学校教育並びに地域社会の向上に資する活動を継続したことが認められ、全日本剣道連盟から三保剣道クラブ（清水区）、蒲原剣道少年団（清水区）に平成 24 年度「少年剣道教育奨励賞」が授与されました。

「少年剣道教育奨励賞」を受賞して

三保剣道クラブ 松村 陽朗

「全日本剣道連盟少年剣道教育奨励賞」受賞の知らせに、三保剣道クラブ一同は、大きな驚きと喜びに包まれました。御推薦いただいた剣道関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

当クラブは、火曜日、木曜日の週 2 回（17：45～）小学生を中心に小学校の体育館をお借りして稽古をしています。正しい剣道が身につくように基本稽古を多く取り入れ、将来につながる剣道を、子供の目線で分かり易い指導を心がけております。さらに木刀を使い、「刃筋、手首の返し」等にも留意し指導にあたっています。

試合になると、どうしても勝ち負けに流されがちな子供たちですが、勝負よりも大切なことがあるということを学び、それを剣道以外のことで生かしてもらいたいと思います。

私自身、稽古や試合中、子供たちから教えられることも多く「まだまだ修行が足りない」と思います。

現在 4 名の先生方にご指導をいただいておりますが、小学生が 6 名と少なく団体戦の出場メンバーぎりぎりの状態です。これからもっと部員が増えて、体育館からあふれんばかりの子供たちの声が響きわたるようになるのが私の願いです。



「少年剣道教育奨励賞」受賞のお礼

蒲原剣道少年団団長 後藤 憲亮

全日本剣道連盟という普段あまり気にすることのない遠い存在から突然いただいたお便りが、この度の「少年剣道教育奨励賞」の受賞の知らせで、驚きとともに自分たち団体が果たしてよいのだろうかという恐れを最初に感じました。

拙団は、昭和 50 年に故原 計夫 先生（錬士六段）が、地域の要望に応え、各施設をお借りして創められました。その後、昭和 60 年に 10 周年を記念し団内大会を行い、未熟者ながら小生が代わってお手伝いをする事となりました。小学生だけの団体でもあり、地域の子供数の減少とともに年々入団員数も減少し、近年は 10 名足らずの団員で、また、大会での目立った戦績も無いなかでの今回の受賞の知らせは、正に青天の霹靂でありました。しかしながら、この表彰をいただきましたことは、自分自身への更なる努力への鼓舞として大変大きな力付けとなりました。週 2 回の練習と稽古開始前の論語の素読。正月 4 日間（以前は 1 週間）の早朝寒稽古、夏の朝霧合宿。そして、拙寺を使つての掃除と座禅の宿泊研修を中心として、『生活剣道』をモットーに子供たちと行っております。特に自分の気の緩みが子供たちに反映するので、先ず小生が挫けない心を学ばせていただいております、子供達とともに成長させていただいたことが継続してこられた結果であり、その節目の表彰をいただけたことに心から感謝申し上げます。しかしながら、来年の自分と拙団、更には 5 年後の自分と拙団の姿が見えず、記念の手拭いがいまだ使えずにありました。

今回、この機会をお借りして、ご推薦くださいました静岡市剣道連盟並びに県剣道連盟の先生方、関係者の皆様様に衷心より感謝申し上げますとともに、今後の精進を誓って記念手拭いを使わせていただこうと思います。今後も何卒ご指導を賜りますようお願い申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。合掌

